

豊後大野市民病院における身体拘束最小化にむけた取り組みについて

豊後大野市民病院は 地域住民に安全で最新の医療を提供することを理念としています。

また、地域から信用される病院を病院目標に掲げています。

患者さんの尊厳を尊重し、一人ひとりに寄り添う姿勢は当院の理念を実現するための基礎であり、その中でも身体的・精神的弊害を招く身体拘束については原則行わない方針です。

やむを得ず必要となる場合でも、最小限・最短時間での実施を徹底し身体的拘束最小化に取り組めます。

- 1, 身体拘束最小化に関する指針を整備し、全職員に周知・徹底します
- 2, 身体拘束に頼らない手段を優先させます
- 3, 多職種参加の身体拘束最小化委員会の活動（巡回、研修、検討）により

身体拘束状況の改善を図ります

職員全員で、患者さん一人ひとりに寄り添い、安心して入院生活を送れる環境づくりに努めます。

豊 後 大 野 市 民 病 院

病 院 長 甲 斐 成 一 郎

看 護 部 長 堀 真 由 美